オプション検査のご案内

examination options

皆さまの健康寿命を延伸させるためより良い
保健・医療サービスの提供を実践いたします

AOYAMA

医療法人社団　青山会

”人と企業の未来のために
ヘルスプロモーションパートナー”

オプション検査

人間ドックや健康診断は、定期的に身体の総合的な精密検査を行うことで、「自覚症状のない病気」や「将来的に引き起こす恐れがある疾患や臓器の異常」などを早期に発見し、医師の診断に基づいて必要な指導や早期治療･予防を行うことを目的に基本検査項目を設定しております。
この基本検査項目は、幅広い年代でご受診いただけるようになっておりますが、生活習慣や年齢、性別によって発症しやすい疾患がことなり、基本検査項目だけでは、発見できない疾患もあります。
これらを補う意味で各疾患に照準を定めた検査がオプション検査であり、基本検査項目と組合わせることにより包括的でより精度の高い人間ドック・健康診断を受診することができます。

CONTENTS

オプション血液検査・・・・・・P.01～P.02
- ❖ 腫瘍マーカー
- ❖ 甲状腺ホルモン検査
- ❖ 心不全マーカー
- ❖ 脳梗塞リスクマーカー
- ❖ 胃がんリスク検査
- ❖ アレルギー検査
- ❖ 肝炎ウイルス検査
- ❖ MCIプラススクリーニング検査
- ❖ 血液型
- ❖ 骨代謝マーカー

その他のオプション検査・・・P.03
- ❖ 骨密度検査
- ❖ 大腸がん検査
- ❖ 動脈硬化度(血圧脈波)検査
- ❖ 眼科検査
- ❖ 腹部超音波検査
- ❖ 乳腺超音波検査
- ❖ 甲状腺超音波検査
- ❖ 頸動脈超音波検査

婦人科検査・・・・・・・・・・・・・P.04
- ❖ 子宮頸部細胞診(医師採取)
- ❖ HPV検査(医師採取)
- ❖ 子宮頸部細胞診(自己採取)
- ❖ HPV検査(自己採取)
- ❖ 乳がん検査(マンモグラフィ)

※オプション検査を追加される場合、事前にご連絡いただけますようお願い申し上げます。

❖腫瘍マーカー検査（血液検査）

腫瘍マーカーとは
血液中に含まれるがん細胞の目印(マーカー)になる物質の総称です。腫瘍マーカーの種類により、臓器別にがんの存在の有無を調べることができ診断の手助けとなる検査です。腫瘍マーカーは種類により、がん以外の要因でも上昇する場合もありますが、定期的に受けていれば、その値が上昇したときに悪性腫瘍(がん)発見の重要な手がかりになります。

＊記載の料金はすべて消費税込となっております。

	腫瘍マーカー名	肺がん	食道がん	胃がん	大腸がん	膵臓がん	胆管がん 胆嚢がん	肝臓がん	子宮がん 卵巣がん	前立腺がん	乳がん	検査料金（税込）
1	CA19-9			○	○	●	●	○				2,200円
2	CEA	○		○	●							2,200円
3	AFP						○	●				2,200円
4	PSA(男性のみ)									●		2,200円
5	SCC	○	○						●			2,200円
6	CA125								●			2,200円
7	CA15-3(女性のみ)	○				○			○		●	2,200円

●：がんで高値になる確率の高い臓器　○がんで高値になることがある臓器

❖腫瘍マーカーセット検査

セット	男性3点セット	PSA，CEA，AFP　※もしくは上記の腫瘍マーカーより3点	5,500円
セット	女性3点セット	SCC，CA125，CA15-3　※もしくは上記の腫瘍マーカーより3点	5,500円
セット	女性7点セット (腫瘍マーカー＋甲状腺ホルモン)	SCC，CA125，CA15-3，CEA，AFP，CA19-9，TSH，FT3，FT4	11,000円
セット	卵巣がん 腫瘍マーカーセット	二種の腫瘍マーカー（CA125とHE4）の測定結果値から、卵巣腫瘍が悪性なのか良性なのかを推定できるROMA値（卵巣悪性腫瘍推定値）を算出します。 ※女性3点セット、女性7点セットとの組み合わせ値引きはございません。	3,300円

❖甲状腺ホルモン検査(血液検査)

甲状腺ホルモンとは
甲状腺ホルモンは体内のタンパク質合成やエネルギーの代謝、酸素消費などの能力を高める作用があり、甲状腺ホルモンの分泌を見ることによって、甲状腺の働きと異常（亢進症と低下症）がわかります。バセドウ病などに代表される甲状腺機能亢進症は甲状腺腫（喉仏の下が膨張する）で発見されることが多く、暑がり、動悸、原因不明の体重減少、倦怠感、月経異常などの症状が現れます。一方、甲状腺機能低下症ではむくみや便秘、食欲不振、寒がりなどの症状が現れます。

	甲状腺ホルモン	甲状腺ホルモン(FT3，FT4)　・　甲状腺刺激ホルモン(TSH)	3,300円

❖心不全マーカー(血液検査)

心不全マーカーとは
自覚症状がない状態や、心電図でも異常の無いような早い段階で心臓の負担(異常)を見つけられる血液検査でNT-proBNPは心臓に負担がかかると生成されるホルモンです。

	心不全マーカー	NT-proBNP	3,300円

❖脳梗塞リスクマーカー(血液検査)

微小な脳梗塞を生じたとき、脳の細胞が傷つくと血液内で高くなる物質：アクロレインと、炎症物質2種（インターロイキン-6、CRP）の3項目を測定し、年齢と組み合わせて総合的にリスクを評価します。＊脳梗塞のリスク情報を提供するもので、脳梗塞を診断するものではありません。隠れ脳梗塞(症状の無い脳梗塞)は今まではMRI検査でなければ見つかりませんでしたが、脳梗塞リスクマーカーは血液検査で無症候性脳梗塞を約85％の確立で検出することができ、高価な脳ドックを受けるかどうかの判断をするのに役立ちます。

	脳梗塞リスクマーカー	バイオマーカー（アクロレイン抱合体）・炎症物質（インターロイキン-6、CRP）	8,800円

＊バイオマーカー：ある疾病の存在や進行度をその濃度に反映し、血液中で測定されるタンパク質

❖心不全 ＋ 脳梗塞　リスクマーカーセット検査

セット	心不全+脳梗塞	NT-proBNP＋バイオマーカー（アクロレイン抱合体）・炎症物質（インターロイキン-6、CRP）	11,000円

❖胃がんリスク検査(血液検査)「ABC検診：胃がんリスク分類」

胃がんリスク検査とは
胃がんリスク検査は、胃がんにかかる危険度(リスク)を調べるもので、血清ペプシノゲン検査とヘリコバクター・ピロリ菌抗体検査という二つの検査を組み合わせ、胃がんになりやすい状態かについて調べその結果を組み合わせて胃がんのリスクをA，B，C，Dの4群に分類するものです。

セット	ABC検診	ペプシノゲン検査　＋　ﾍﾘｺﾊﾞｸﾀｰ･ﾋﾟﾛﾘ抗体　＋　胃がんリスク分類	4,400円
	ペプシノゲン検査	血清ペプシノゲン　（PGⅠ，PGⅡ，PGⅠ/PGⅡ比）	3,300円
	ﾍﾘｺﾊﾞｸﾀｰ･ﾋﾟﾛﾘ抗体	ヘリコバクター・ピロリIgG抗体	2,200円

■　血清ペプシノゲンとは
胃がんの多くは胃粘膜の萎縮(萎縮性胃炎)が大きな原因と考えられており、萎縮の度合いで胃がんのなりやすさを知ることが出来ます。ペプシノゲンの量を測定することで、どれくらい胃粘膜の萎縮が進んでいるかを調べます。

■　ヘリコバクター・ピロリIgG抗体
ヘリコバクター・ピロリという菌は人間の胃粘膜に住み着き、胃潰瘍や十二指腸潰瘍などを発症させます。また、このピロリ菌は慢性萎縮性胃炎の原因とも考えられており、胃がんに深い関係があると言われています。血液中のピロリ菌への抗体の値を測定することで現在ピロリ菌に感染しているかを調べます。

❖Viewアレルギー39（血液検査）

Viewアレルギー39　とは
1度の採血で39種類のアレルギーの原因を調べられる検査です。アレルギー性疾患の主要な原因アレルゲンの項目が入っています。

	Viewｱﾚﾙｷﾞｰ39	特異的IgE抗体　（39種物質）	11,000円

❖肝炎ウイルス（血液検査）

	肝炎ウイルス	B型肝炎	抗原	B型肝炎ウイルスの感染の有無を調べます。	660円
			抗体	過去にB型肝炎に感染し、その後治癒したことを示します。HBVワクチンを接種した場合にも陽性となります。	660円
		C型肝炎	抗体	C型肝炎ウイルスの感染の有無を調べます。	2,200円

❖MCIプラススクリーニング検査（血液検査）

MCIプラススクリーニング検査とは
血液で現在のMCIの可能性・将来のリスクがわかる検査です。この検査ではアルツハイマー病のリスクである血管の老化や炎症に関与するタンパク質、また発症の原因の一つといわれているアミロイドβの排除機能をもつタンパク質を測定することでMCIのリスクを判定します。

	MCIプラス スクリーニング検査	MCI(軽度認知障害)リスクにつながるタンパク質等を測定します。	22,000円

❖血液型（血液検査）

	血液型	ABO式・Rh(D)式	2,200円

❖骨代謝マーカー（血液検査＋尿検査）※血液と尿のどちらか一方がご提出いただけない場合、「キャンセル」とさせていただきます。

骨代謝マーカーとは
骨の新陳代謝によって血液中や尿中にでてくる物質です。骨代謝マーカーには、骨が壊されていることを反映する「尿中NTX」や、骨がつくられていることを反映する「totalP1NP」等があり、これらの濃度を測定することにより現在の骨の新陳代謝の状態を調べる検査です。

	骨代謝マーカー	骨の吸収や形成の際に血液中や尿中に出てくる物質から現在の骨の新陳代謝状態を判定します。	4,400円

■　骨形成マーカー：totalP1NP（Ⅰ型プロコラーゲン-N-プロペプチド）とは
「新しい骨をつくる」細胞が作る物質です。骨芽細胞が新しい骨を作る際に産生・分泌される物質で、血液や尿の検査によって測定できます。このマーカーを測定することで、骨の形成がどれくらい活発に行われているかを評価できます。

■　骨吸収マーカー：尿中NTX（Ⅰ型コラーゲン架橋-N-テロペプチド）とは
「骨を溶かす」細胞が作る物質です。特に女性では閉経後に高くなると言われています。
破骨細胞が骨を溶かす（吸収する）ときに放出される成分を指し、血液や尿中に含まれるため検査で測定できます。このマーカーを調べることで、骨吸収がどれくらい活発に行われているかを評価できます。

骨密度検査

❖骨密度

	DIP法	手をレントゲン撮影し、レントゲン画像から骨密度を測定します。	4,400円

大腸がん検査

❖便潜血検査：2日法

❖便潜血検査とは
大腸の中に潰瘍やポリープ、がんができていると出血することがあります。排出された便の中に血液の反応があるかどうかを調べ、出血がないかどうかを確かめる検査です。出血があったからといってがんだというわけではありませんが、身体のどこで、どんな理由で出血が起きているのか調べるため、陽性(＋)となったら必ず精密検査を受診してください。

	便潜血検査	2日法	1,760円

動脈硬化度(血圧脈波)検査

❖血圧脈波検査の内容
CAVI：動脈の硬さを調べる検査で、大動脈を含む心臓から足首までの動脈硬化度を調べます。
ABI　：下肢動脈の狭窄や閉塞を調べる検査です。

	動脈硬化検査 (血圧脈波検査)	仰向けに寝た状態で両腕・両足首の血圧と脈波を測定することで、動脈の硬さ・詰まり具合・血管年齢などがわかります。	3,850円

眼科検査

❖眼科検査

	眼底検査	目の奥の写真を撮影し状態を調べます。原則コンタクトレンズは外します。	1,760円
	眼圧検査	目に空気を当て状態を調べます。原則コンタクトレンズは外します。	880円
セット	眼底・眼圧セット	眼底検査　＋　眼圧検査	2,200円

超音波(エコー)検査

❖超音波(エコー)検査のしくみ
超音波とは、人が聴くことができない高い周波数の音波です。この高い音を臓器に当てて、跳ね返ってきた反射を画像に表します。身体に無害であり、リアルタイムで臓器の様子を観察することができます。妊娠中の方にも安心して受けていただける検査です。

	腹部超音波	腹部(みぞおちから、わき腹のあたり)に超音波をあて、5つの臓器(肝臓・胆のう・膵臓・脾臓・腎臓)を中心に異常がないかを調べます。	5,830円
	乳房(腺)超音波	乳腺の状態や腫瘤ができていないか・腫瘤が良性か悪性か・リンパ節が腫れていないかなどを調べます。	3,850円
	甲状腺超音波	喉の部分にある甲状腺に超音波をあて、甲状腺の大きさ、腫瘍病変の位置や大きさ・性状などを調べます。	3,850円
	頸動脈超音波	首の部分にある頸動脈（大動脈から頭部へ血液を送る血管）に超音波をあて、動脈硬化の程度を調べます。	3,850円
セット	甲状腺超音波・ 甲状腺ホルモンセット	甲状腺超音波　＋　甲状腺ホルモン	6,600円
セット	甲状腺超音波・ 頸動脈超音波セット	頸動脈超音波　＋　動脈硬化検査	6,600円
セット	頸動脈超音波・ 動脈硬化検査セット	頸動脈超音波　＋　動脈硬化検査	6,600円

婦人科検査

❖子宮頸部細胞診（医師採取）

子宮頸部細胞診(医師採取)とは
医師が頸部の細胞を擦り取るように採取します。電子顕微鏡で異常な細胞が無いかを確認する検査です。
※提携医療機関：北島レディースクリニック（船橋みなとクリニックから車で7～8分）にご移動いただきます。
（無料往復タクシーチケット有）

	子宮がん検査	子宮頸部細胞診（医師採取）	5,500円

❖HPV(ヒトパピローマウイルス)：高リスク型HPV（医師採取）

高リスク型HPV医師採取)とは
子宮頸がんの原因となるHPV（ヒトパピローマウイルス）は150種類以上の型があり、そのうちの十数種類は細胞を異常細胞（がん化)に変化させる危険性のある型です。この高リスク型のHPVの存在を調べる検査です。
※子宮頸部細胞診（医師採取）と併せての検査となります。（単独受診不可）

❖子宮頸部細胞診（医師採取）・HPVセット検査

セット	子宮がん・ HPVセット	子宮頸部細胞診（医師採取）　＋　高リスク型HPVの検出（医師採取）	11,000円

❖子宮頸部細胞診（自己採取）

子宮頸部細胞診(自己採取)とは
専用の採取容器を使用して、頸部の細胞を擦り取るように採取します。電子顕微鏡で異常な細胞が無いかを確認する検査です。

	子宮がん検査	子宮頸部細胞診（自己採取）	2,200円

❖HPV(ヒトパピローマウイルス)：高リスク型HPV（自己採取）

高リスク型HPV(自己採取)とは
子宮頸がんの原因となるHPV（ヒトパピローマウイルス）は150種類以上の型があり、そのうちの十数種類は細胞を異常細胞（がん化)に変化させる危険性のある型です。この高リスク型のHPVの存在を調べる検査です。（単独受診可）

	HPV高リスク型検査	高リスク型HPVの検出（自己採取）	5,500円

❖乳がん検査

	マンモグラフィ（2方向）	乳房を板で圧迫した状態でレントゲン写真を撮影する乳がんの検査です。	5,500円

❖婦人科検査セット

セット	子宮がん・ 経腟超音波セット	子宮頸部細胞診（医師採取）　＋　経腟超音波検査	8,250円
セット	子宮がん・HPV・ 経腟超音波セット	子宮頸部細胞診（医師採取）＋高リスク型HPVの検出（医師採取）＋経腟超音波検査	15,000円
セット	乳房(腺)超音波・ マンモグラフィセット	乳房(腺)超音波　＋　マンモグラフィ	8,800円
セット	子宮がん・ 乳房(腺)超音波セット	子宮頸部細胞診（医師採取）　＋　乳房(腺)超音波	8,250円
セット	子宮がん・ マンモグラフィセット	子宮頸部細胞診（医師採取）　＋　マンモグラフィ	9,900円
セット	子宮がん・ 乳房(腺)超音波・ マンモグラフィセット	子宮頸部細胞診（医師採取）　＋　乳房(腺)超音波　＋　マンモグラフィ	13,200円